

AIDS 予防啓発 キャンペーン in 北海道

11 月 30 日 (日) 小雪舞う札幌駅前において「AIDS 予防啓発キャンペーン」を行いました。実施に向けて全国他県のように白衣着用などの意見もありましたが、日中の最高気温が 4~5℃ではとても無理ということで、第 57 回学会用に作製したスタッフジャンパーを生きのいい若者に着用させ、年寄りもしっかり厚着をすることで意見の一致をみました。

市民へは日臨技からの「12 月 1 日世界エイズデーチラシ」「ポケットティッシュ」「日臨技絆創膏」の他に「12 月 6 日開催公開講演会チラシ」をクリスマスイメージの袋に入れて配布いたしました。用意した 1,000 個も 1 時間足らずで配布終了となりました。

「エイズ予防のキャンペーンで〜す。」で道行く市民に配布しましたが、「ありがとう」「頑張ってください」などの声には配布担当者も勇気付けられたようです。ただ、逃げるように避ける人もいる中、無事終了できました。ただ、北海道の気象条件では「スタッフジャンパー」ならず「スタッフダウンコート」みたいなものも必要かと思う一日でした。



【伊藤雅寛】

日臨技エイズ予防啓蒙の活動をして in 岩手

11 月 29 日土曜日、岩手は日中でも 5~6℃の寒風吹き荒ぶ日でした。そんな中、当地で初めてのエイズ予防啓蒙活動を行ないました。

盛岡駅前の街頭でエイズキャンペーンセットを配布しながら啓蒙活動を行ないました。エイズキャンペーンセットとは日臨技作製のエイズ撲滅パンフレットとポケットティッシュにドーナツ 2 個を特製の布袋に入れた配布グッズです。活動は若い世代をターゲットにしておりましたが世代を問わずに活動しました。その中にはエイズ撲滅パンフレットを差し出すと無愛想な表情をする方もおりましたが「ドーナツもどうぞ」と差し出すと受取ってくれました。しかし多くの方々には好意的に受取って頂きありがたく思いました。ある女子学生さんからは「エイズに感染しないでね」と声を掛けると「ハイ」と明るい返事を頂き、このような方々が 1 人でも多くなるとエイズは撲滅できるだろうと感じました。またご年配の方々からは「ごくろうさま」と声を掛けて頂き、寒い中でも心温まる思いをした 1 日でした。



【伊藤雅寛】

「エイズ予防啓発活動」 in 石川

石川県臨床衛生検査技師会では 11 月 29 日と 30 日の 2 日にわたりエイズ予防啓発リーフレットの配布活動を行った。場所は日臨技によるエイズ予防啓発映像が放映される金沢フォーラスの前広場と JR 金沢駅東広場を選択した。リーフレットとポケットティッシュの他にエイズ治療北陸ブロック拠点病院である石川県立中央病院からのエイズ検査に関する案内も一緒に配布することにし、スタッフ全員が背中に石臨技のロゴと団体名の印刷された黄色いウインドブレーカーを着用して行った。配布活動では「エイズ予防啓発キャンペーンを行っています」と言って渡す場合に比べ、「臨床検査技師会です」と言って渡す場合のほうが受け取る人が多い傾向があり、「エイズ」という言葉に対する抵抗感が潜在することを感じた。約 1 時間程度の活動で、エイズ予防の啓発と同時に臨床検査技師会の存在をアピールすることができたが、実際にリーフレットを配布している時間帯に啓発映像の集中放映などきめ細かな放映回数の調整ができればもっと効果的と思われた。



【長原三輝雄】

エイズ撲滅啓発 キャンペーンに参加して in 埼玉

12 月 1 日の「世界エイズデー」に向けて日本臨床衛生検査技師会は、11 月 29 日~12 月 5 日にわたりエイズ撲滅啓発キャンペーンを実施した。今年は 31 都道府県、47 会場で延べ 16,709 回の大型映像メディア放映が行われ、埼玉県は街頭大型ビジョン大宮アルシェにおいて「エイズ予防啓発映像」が 30 分に 1 回 (15 秒間) 放映された。「エイズ予防啓発映像」は日本臨床衛生検査技師会のホームページからも見ることができるため、ご覧になった方も多いと思われる。「HIV 感染者とエイズ患者は 1 日約 4 人ずつ増えている」というメッセージに始まり、「原因はあなたの無関心」「STOP エイズ!」「大切な人のため、あなたができることそれは臨床検査です」というインパクトのある内容である。関東甲信地区臨床検査技師会は 1 都 8 県の検査技師会がそれぞれ独自の企画内容で啓発活動を展開した。埼玉県臨床検査技師会は 11 月 29 日、30 日にエイズ予防リーフレットの配布を行った。日本臨床衛生検査技師会から準備していただいたリーフレットやポケットティッシュ、臨床検査の紹介パンフレットなど数種類を袋詰めにし、埼玉臨技のスタッフジャンパーを身に纏い、胸にはレッドリボンのバッジを着けて、袋詰めされたリーフレットをエキサイトビジョン大宮アルシェ前にて、街行く人々に配布した。普段、街頭でビラやティッシュを配っているのを見かけるが、やってみたら大変難しいことがわかった。はじめは、なかなか受け取ってもらえず、マッチ売りの少女のような切なさを感じた。しかし、しだいにコツを掴むと袋詰めされたリーフレットはあっという間に配り終わり、残ったリーフレットとティッシュなどを追加して配り続けた。配布していると、「何を配っているの?」と関心を寄せてくる方、「私もエイズ撲滅キャンペーンの活動をしています。頑張ってください。」と応援して下さる方、立ち止まって熱心に説明を聞いて下さる方もおり、大変励みになりました。



【内川里子】

